

分野：④川の再生（川のゴミについて）

（川のゴミ）

環境アドバイザー

青木 明雄

対象 志木市立宗岡第三小学校4年（55人）

※2クラスあり、1クラスずつ実施

所要時間



1時間30分

場所 志木市立宗岡第三小学校内

実施時期

令和3年5月14日

概要

川のゴミの様子と海での状況について説明

全国川ごみネットワークが、独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金企業協働プロジェクト(LOVE BLUE 助成)を受け実施しました。

プログラムの ねらい

川のゴミの状況や大量のゴミが海を漂流している実態と生き物への影響を知ってもらい、ゴミを減らす生活意識を高めてもらう。

プログラムの内容

以下の内容を、2クラスに行いました。

1. 地図上で場所の確認（5分）

スタッフ紹介に続き、地図を配布して、学校の場所を確認してもらう。

1. ビデオ（5分）

川のゴミの様子。海のゴミが、大量に漂着した海岸の様子。

2. 志木市の川とゴミ（10分）

市内の川についてと川に落ちていたゴミの様子、更に鳥などへの様子をプロジェクターで説明。

3. ごみは新河岸川から隅田川を通り海へ、生きものも困る、ごみを減らすには等（20分）

海のアザラシとイルカがゴミの漁網にかかった時の疑似体験を子供たちに行った。

漁網から抜け出す苦しみを体感してもらった。

4. この授業を受けて、感じたことなど（5分）

この授業を受けて他の人に（家族など）伝えたいことを、カードに書いてもらった。

受講者の反応

全員、極めて関心が高く、常時説明者やビデオから目を離すことはなかった。

感想など、積極的に手を上げて発言してくれた。

終了後、私たちの前に寄ってきて、今度は、親とゴミ拾いをしますなどと言っていました。

とても、前向きに取り組もうという気持ちが、クラス全体に見られた。

環境学習の様子（写真） ※表面に写真を掲載している場合は不要

